

の議  
求市  
元市  
請元  
審協  
上協  
再上

# 検察調書「裏付けなし」

## 当時の取り調べを批判

かなかったという。

上脇さんは一番の公判途中に無罪主張に転じた。「党への迷惑を考えたが、やっていないことをかぶらされるのが許せなくなっ」と当時の心境を明かした。

(有島弘記)

知人の元風俗店経営者(75)に有罪確定に脱税を指南したとして、国税徴収法違反の罪で有罪判決が確定し、大阪高裁が今月、再審開始を決定した元神戸市議の上脇義生さん(66)が15日、神戸市内で会見した。決定を不服として大阪高裁が最高裁に特別抗告するなか、当時の検察の取り調べに言及し「裏付けをせず、内部チェックも甘かった。脅しや誘導で調書にサインをさせるやり方はやめてほしい」と批判した。



公明党の現職議員だった上脇さんは逮捕後、その年に予想された衆院選を引き合いに揺さぶられたという。「保釈はない。裁判になれば1人ずつ証人を立てて衆院選まで引張る。記事になれば党のダメージはきついで」。容疑を認めるしただ。

特別抗告は13日にあり、再審開始の判断は最高裁に委ねられた。弁護団は高裁の特別抗告申立書を取り寄せ、反論する意見書を提出する方針。上脇さんは「冤罪で泣いている人のためにも、無罪を勝ち取る」と語った。

### ■上脇さん再審請求の流れ

- 2015年2月25日  
神戸地裁が再審請求を棄却
- 2015年2月27日  
上脇さんが大阪高裁に即時抗告
- 2015年10月7日  
大阪高裁が再審開始を決定
- 2015年10月13日  
大阪高裁が最高裁に特別抗告

今後

最高裁が再審開始について判断

特別抗告を棄却

特別抗告を支持

神戸地裁で再審開始

再審請求を完全棄却

大阪高裁に再審開始を認められた元神戸市議の上脇義生さん(中央)。大阪高裁の特別抗告を受けて会見した11月15日午後、神戸市中央区(撮影・鈴木雅之)